

観光するなら、ここがおすすめ

田尻 蕪栗沼・周辺水田
(かぶくりぬま・しゅうへんすいでん)

古川 化女沼
(けじょぬま)

2つのラムサール条約湿地

秋から冬にかけて約10万羽の渡り鳥が飛来する「蕪栗沼」。亜種ヒシクイやシジュウカラガンなどの有数の飛来地である「化女沼」。大崎市には2つのラムサール条約湿地がある。時期によっては朝の飛び立ちや夕方のねぐら入りのタイミングに、幻想的な光景が見られる。



【蕪栗沼・周辺水田】 大崎市田尻蕪栗字大沼地内 ☎0229-38-1401 (蕪栗ぬまっこくらぶ事務局)
http://www.5.familie.ne.jp/~kabukuri/
【化女沼】 大崎市古川小野字遠沢地内 ☎0229-28-1353 (大崎市化女沼ダム観光資料館)



案内板

大崎地域の各所に大崎耕土の魅力を紹介する案内板を設置。散策しに訪れてみよう。



フィールドミュージアムマップ

地域資源をエリアごと示し、様々な大崎耕土の魅力をまとめたマップ。



大崎耕土ウェブサイト

<https://osakikoudo.jp>

大崎耕土 検索

強い季節風

VR体験スポット1
居久根 (いぐね)

居久根とは屋敷林のこと。居久根のある生活には、防災、自給等の知恵が溢れており、生物多様性を育んできました。遠くから眺めるとまるで水田に浮かぶ森のようにも見えます。

VR体験スポット2
南原穴堰 (みなみはらあなげき)

江戸時代・正保年間(1644~1647年)にすべて手堀りで作られた総延長1,880mの灌漑用水。約370年経過した今でも農業用水、生活用水として使われています。

世界農業遺産

大崎耕土を360°VRで体験しよう!

動画で見る

体験の手順

1 右記QRコードをお手持ちのスマホで読み込む。

2 Youtubeの再生画面が流れます。

＜体験に際してのご注意＞

- アプリ及びコンテンツのダウンロードには別途通信費及び大容量のパケット通信料が発生します。
- Youtubeアプリが必要になります。



未来へつなぐ「生きた遺産」

世界農業遺産



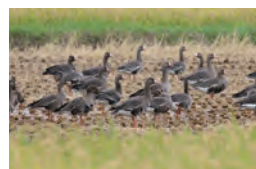
「持続可能な水田農業を支える大崎耕土の伝統的な水管理システム」は、世界農業遺産に認定された水田農業システム。やませによる冷害や洪水、渇水が頻発する厳しい自然条件の中、米づくりを中心とした水田農業により豊饒の大地「大崎耕土」を継承してきた。そこには農業用水の確保や栽培技術、排水対策など、農業農村の営みのあらゆる場面で水を巧みに管理する知恵や工夫、数多くの苦労があった。

この伝統的で巧みな水管理により支えられてきた水田農業の営みは、水田と水路、ため池、農家の暮らしを支える屋敷林、居久根(いぐね)と共に、水田が持つ豊かな湿地生態系や農文化を育成。「生きた遺産」として2017年に国際連合食糧農業機関(FAO)から世界農業遺産に認定され、未来に伝えたい素晴らしい農業システムとして現代に生きている。



3.伝統的な農文化

豊穡への祈りや感謝を表す農耕儀礼・民俗芸能、また、餅や酒・味噌・醤油の発酵食など、伝統的な農文化の宝庫。



4.生きものの共生

水田が育む湿地生態系として、淡水魚類、カエルやクモのほか、マガンなどの鳥類と多種多様な生きものが人・農業と共生。



5.特徴的な景観

家屋を取り囲み、洪水や冬の北西風を防ぐ屋敷林「居久根」と水田、水路は、この地域特有のランドスケープ。

世界農業遺産「大崎耕土」FAOが定める5つの要素



1.巧みな水管理

水田農業を支える、用水確保のための取水堰、隧道・潜穴、洪水に備えた遊水地、水資源の配分や冷害対策等の技術。



2.豊かな農作物

ササニシキやひとめぼれ、ささ結などを生み、また、大豆や地域ごとの伝統野菜など、多様な農作物を生産・供給。

大崎耕土 案内板も便利!

オオサキワンダーミュージアムを巡るモデルコース

「大崎耕土」の伝統的水管理システムによって培われてきた農業や農文化、生物多様性、美しく機能的な農村景観が一体となった農業システムが、未来に残すべき「生きた遺産」として世界農業遺産に認定された。この地域資源を紹介する案内板や映像を利用しながら、人と大自の青空博物館「オオサキワンダーミュージアム」を訪れてみよう。

施設の
データはこちら



JR古川駅



車で20分

車で10分

古川

【案内板】居久根と生きもの

道の駅おおさき (みちのえきおおさき)

中心市街地にある珍しい道の駅。世界農業遺産「大崎耕土」の農産物や食事が味わえる。観光情報をチェックして、クーポン付き「まちナビカード」を使って、もっとお得に大崎めぐりを楽しんでみては。



車で30分

古川

生物多様性／【案内板】ガンの飛び立ち・田んぼとガン

化女沼 (けしよぬま)

2008年10月にラムサール条約湿地に登録。ヒシクイ、マガン、シジウカラガンなどの重要な越冬地で、多いときには2万羽を超える。11～1月が観察の見頃。また周辺には四季折々の草花が見られる。



車で60分

岩出山

巧みな水管理
【案内板】内川

世界かんがい施設遺産 内川 (うちかわ)

1591年に伊達政宗公の命により、岩出山城の外堀を兼ねて開削された歴史ある農業用水路。水田に水の恵みを行き渡らせ豊饒の大地「大崎耕土」を支える水管理システムの代表施設。



徒歩で10分

鳴子温泉

鳴子温泉郷 (なるこおんせんきょう)

日本にある11種類の泉質のうち、9種類を楽しむことができる鳴子温泉郷。目覚めとともに湯めぐりを楽しみ、多彩な泉質を堪能しよう。



車で20分

岩出山

旧有備館および庭園 (きゅういびくわんおよびていえん)

岩出山伊達家の隠居所・下屋敷・家臣などを教育する学問所として使用された建物。池中に島を配した廻遊式池泉庭園。園内を彩る花々、樹齢300年になる古木も見事。
入館料:一般350円、高校生260円、小・中学生180円



車で10分

鳴子温泉

巧みな水管理
【案内板】南原穴堰・ぬるめ水路

南原穴堰 (みなみはらあなせき)

山間地用水の確保のために1644年から1647年に開削された穴堰。総延長1,880m(隧道部1,331m)、南原地区の水田(25ha)を潤す水管理の基盤。車は「みみずくホール」に駐車し、徒歩で移動。



車で30分

岩出山

伝統的な農文化

旧千葉家住宅 「ずんだもち手作り体験」 (きゅうちへはけしやうたくずんだもちてづくりたいけん)

築100年を超える豪農屋敷で、ずんだをつぶすところから体験。敷地内には主屋のほか、板倉、物置、土蔵、池などあり、当時の様子を伝えている。

※要予約
(一社)みやぎ大崎観光公社
☎0229-25-9620



昼食

車で10分

岩出山

【案内板】田んぼの生きもの・岩出山凍り豆腐

あ・ら・伊達な道の駅 (あ・ら・だてなみちのえき)

東北一の売り上げを誇る道の駅。「大崎耕土」で生産された農産物、姉妹都市・北海道当別町ゆかりの商品など、ここでしか購入できない商品をラインナップ。風土や伝統が育んだ地域産品を保護するGI制度に登録された「凍り豆腐」も販売している。

